



京都医療生協

第200号 2021年(令和3年)7月25日
発行所/ 京都医療生活協同組合
京都市中京区聚楽廻東町2番地
視力センタービル地階
☎075(822)2286 FAX075(822)6133
発行責任者/ 宮本和明

京都医療生活協同組合 コロナ感染対策の元で2021年度通常総代会開く

患者さんと地域に信頼される活動強化

「目の手術、安心のコンタクトレンズは中野眼科で」

中野眼科を開設している京都医療生活協同組合は6月19日、コープ御所南ビルで第74回通常総代会を開催しました。総代96人の出席(書面出席含む)で、上木紀介議長によって進められました。「2021年度事業計画」など4議案全てが採択されました。

宮本和明理事長は冒頭挨拶(別掲)の中で「職員の懸命の努力で院内感染は一例も発生していません」とコロナについて触れました。2020年度事業報告、同決算、決算の監査結果、2021年度事業計画、同予算は清水泰治専務理事が報告提案。また定款の一部変更は須賀修司常任理事が、役員報酬は松本忠之常任理事が行いました。



本年も、昨年と同様の形になりましたが、こうして第74回通常総代会を開催できることを有難く思います。

新型コロナウイルスが我国で確認されてから1年と5カ月。状況は悪化し、現在第4波となっており緊急事態宣言も3度発出されました。新型コロナウイルスの性質も徐々に明らかになり、日常生活での対処の仕方も少しずつ分かってきました。しかしコロナウイル

職員の努力で 感染起こらず

宮本 和明 理事長 総代会挨拶

スは変身し、さらに手強くなりました。治療薬の開発は追いついておりません。唯一確実な対策はワクチン接種で、確実に実績は上がってきていますが混乱もみられます。当生協においては、医療スタッフ及び職員の懸命な努力のおかげで、院内感染及び職員自身の感染は一例も発生することなく現在に至っています。

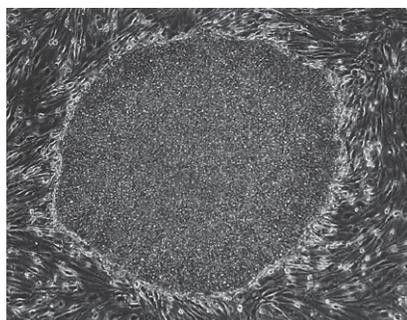
本日は、総代の皆さん、議案のご審議・ご承認をよろしくお願いいたします。

目の治療はここまで進化

iPS細胞(英語で induced pluripotent stem cell、頭文字をとって“iPS”、日本語では“人工多能性幹細胞”)は、体の様々な細胞や組織になる能力をもつ万能の細胞です。iPS細胞を使って、障害された臓器や傷ついた骨などを再生させることが可能で、再生医療の切り札として大きな期待が寄せられています。

実は、iPS細胞を使った再生医療を一番初めに行ったのは眼科で、「加齢黄斑変性」という目の奥底にある網膜(目をカメラに例えるとフィルムに相当)の病気に対して

でした。加齢黄斑変性により障害された網膜に、iPS細胞で作った網膜細胞を移植することで治療します。現在、この治療は数人に対して行われており、治療の安全性が確認され、放置すれば進行する



iPS細胞 (出典: 科学技術振興機構)

視力低下が抑えられています。「実用化に向け7合目まで来た」と評価されています。

眼科領域では他にも、iPS細胞を角膜(黒目の部分の一番表層にある透明な膜組織)の細胞に育ててシート状に加工した上で患者に移植する治療や網膜色素変性(網膜の視細胞が障害され夜盲、視野狭窄、視力低下をきたす遺伝性、進行性の病気)の患者にiPS細胞で作った視細胞シートを移植する治療が試みられています。

(宮本和明)

宮本理事長 / メモ 目も… ①

「つくる健康」も組合員さんに支えられ、今号で二百号を迎えた。この双眸も目にまつわる数多くの話題を先輩諸氏が提供してきたことだろう。目を含め人の五感は当然だが、生きる上で必須なものだ。物を見て記憶に留めたり目は超精密な全自動カメラの如し。目は心の窓とか、口ほどに物を言うとか言われるが、誰も人と相対する時は目を見、その向こう側にある感情を推し量り、関係を保つ。見るだけではなく、目の存在は心とも密接に関わり、瞳の輝きや動きによって喜怒哀楽までもが、声と共に私たちを揺り動かす。その大切な目(眼)が、未来を支えていく子供の近視の低年齢化によって危機的状況であるという。「つくる健康」の創刊時(一九八二年)と比較しても小学生の近視は倍近くに増加。おりしもこのコロナ禍でオンライン授業と共に、学校では一人一台のパソコン、そしてスマホにゲーム等、益々目を酷使する環境に。青葉は目の薬の例えにあるように子供達の目の環境を整え、近視抑制治療と共に私たち大人もしばし、範となるように目を休め暮らして行かねばと思う。(須賀修司)

本紙が200号
創刊号で中野信夫組合長が「健康はみんなの願い」

本紙『つくる健康』が今号で200号の節目の紙数を迎えました。京都医療生活協同組合の機関紙として、1982(昭和57)年3月25日に創刊。同号では設立者の中野信夫組合長が「健康はみんなの願い」と題し、「医療生協に加入して健康づくりを」と呼び掛けています。

不定期発行から年6回になり、現在は季刊です。これからも皆さんの目の健康づくりなどにお役に立ちたいと願っています。(M)



活動の原点があふれ出て紙面が生き生きしている創刊号の1面(上)と2面



医療生協の人

やまうち ひろき
本院 職員 山内博貴さん

3・11と病気が向きあい方を変えた

山内博貴さん。大学卒業後の1988年、中野眼科に入職。男性職員は2人だった。今では山内さんだけ。勤続年数最長の1人にもなった。本院で眼科コメディカルとして医師の視力検査をサポートしている。さらに受付や事務をこなし、若い後輩職員を支えている。



日本大震災。

2010年師走、病魔が山内さんを襲った。歯肉癌のステージ4と診断された。翌年1月入院、手術や抗癌剤の投与を受けた。退院したのは3月11日だった。くしくも東

生きとし生けるものは無常。そこに突如として災難や病気という無情が強引に入ってくる。「自分の命は助かったが、東北の10万人を超える人たちは亡くなりました

た」と、それらの命に声をかけるかのような。胸を詰まらせた思いが、山内さんの人生の景色やその向きあい方を変えた。診療所に来られる患者さんに浮かべる笑顔。患者さんの辛い気持ちに重ねる自分の気持ち。ガーデニングの草花に「元気なさそうやなあ」とかける声。すべてが愛おしく尊くなった。

中野眼科の職場の魅力は？「眼科診療を通して、患者さんの健康に関わっていけることと、職場スタッフがチームとなってその役割を発揮できることではないかと思えます」という山内さん。患者さんも一緒に働く職員も皆同じ、だ。

往復
フイル

協同組合へ
と
協同組合から

◆ お便りコーナー



(総代Aさんからいただきました)

◆ コンタクトレンズ、キャンペーン中

中野眼科は現在、「コンタクトレンズ生活応援キャンペーン」実施中です。コンタクトレンズを1万円(税別)以上お求めの方に1,000円の商品券を、5,000円(税別)以上お求めの方に500円の商品券をプレゼントします。8月31日までです。他のキャンペーンも同時開催中です。

患者さんへ笑顔を!



職本院
おはし
大橋
咲良
さん

「コロナ影響で、患者の皆様には手指消毒をお願いしたり、コンタクトのはめはずしをご自身でお願いしたり、ご不便をおかけしています。それでも患者様から『たいへんですねえ』と有難いお言葉をいただき、日々の励みにしております」と大橋さん。

◆ 役員12人の内、男性が9人

京都医療生活協同組合ではこんなデータが…。役員は現在、理事10人と監事2人の12人。うち男性は9人で75%です。開設の中野眼科4診療所は、医師以外の看護師、視能訓練士、事務の全職員のうち男性が1人です。

◆ 京大生協から感謝状

大学生協で実施されたアンケートによると、パソコンの画面を長時間見る生活が続く、目の不調を訴える学生が多くなっています。「医療生協として学生さんを支援したい」と、コンタクトレンズ洗浄・保存液を京都大学生協協同組合に600本寄付しました。4月7日に贈呈式が行われ、京大生協若林靖永理事長、國見伸行専務理事より感謝状を頂きました。(S)



若林京大生協理事長より感謝状を授与された清水泰治専務理事(左)

通常総代会
「事業計画」

患者さん第一で医療活動と経営の安定を

第74回通常総代会で採択された2021年度事業計画。報告提案の中で清水泰治専務理事は、5期連続黒字決算に甘んじず、また組合員数の減少から目をそらさず、として「患者さん第一」を強調しました。そして次の活動を重視しました。

- ①新たな収益構造の検討②コロナ収束後手術に注力③京都大学以外の大学生協との事業連携の模索④朝日会館診療所の2023年移転。

単年度の活動に限らず、中野眼科と医療生協の中長期的視点からしても重要な活動です。その初年

度をどう進めるか、全役職員の事業活動への一致したベクトルが必須です。コンタクトレンズ事業については、業界の市場状況や競合事情を把握して、①新規ユーザー

の獲得②遠近両用レンズの処方技術の向上③「メニコンフォーシーズン」(世界初の3か月定期交換ハードレンズ)の処方技術の継承、を掲げました。

事12人が出席。書面出席は92人。コロナ感染対策をして少人数、短時間で済ませた通常総代会。総代4人と理事

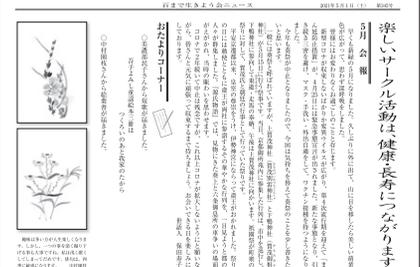


篠原総代が期待寄せる

総代会に出席した朝日班の篠原美佐恵さんは、「46年前に朝日会館でコンタクトレンズを作り、数年前には本院で白内障手術を受け、生涯にわたりお世話になってます。これからもよろしくお祈りします」と期待を寄せました。

「百まで生きよう会」会報345号

高齢者サークル「百まで生きよう会」(会員25人、保田寿子世話人代表)は2021年も活動を続けています。毎月発行の会報(写真)は345号になりました。



読まれた方は多いと思いますが、あえて取り上げます。同書が、歩むべき未来への一つの道を示している気がするからです。

約半世紀前の学生時代、ゼミの資本論講読の発表で毎週、四苦八苦したことを思い出しま



斎藤 幸平 著

『人新世の「資本論」』

す。「資本論」と名がついた書物を真剣に読んだのはそれ以来か。カール・マルクスが蘇った思いです。

タイトルの「人新世」とは、人間活動の痕跡が地球を覆い尽くした年代をいい、象徴するの

が今、直面する気候変動による文明存亡の危機。これをどう克服するのか。著者は後期マルクスの思考を新たな視点で発掘し、それを参照しつつその方途を掴みます。グローバル・サウス、相対的デカップリング、コモン等々。キーワードが頻出し

ます。たどり着いたのは資本主義から脱する脱成長、即ちコモンの再生。コモンとは何か。相互扶助の生協などの役割についても考えさせられます。著者は若い経済思想家。集英社新書、1,020円+税。(松本忠之)